

様式 4

<p style="text-align: center;">令和元年度第 1 回 富士見市いじめ問題対策連絡協議会 議事録</p>						
日 時	令和元年 12 月 13 日 (金)		開会	午前 10 時 00 分		
			閉会	午前 11 時 30 分		
場 所	富士見市役所 2 階 市長公室					
出席者	委 員	山本委員	小林委員	児玉委員	寺島委員	酒井委員
		○	欠	○	○	欠
		林委員	山川委員	山中委員	熊谷委員	佐藤委員
		○	欠	○	欠	○
		大原委員	大沼委員	大森委員	齊藤委員	新山委員
		○	○	○	○	○
	事務局	子育て支援課長 学校教育課長 子育て支援課主査				
公開・非公開	公開 (傍聴者なし)					
議 題	1 開 会 2 委員自己紹介 3 いじめ問題対策連絡協議会の役割について 4 会長及び副会長選出 5 議 題 (1) 講演「県警における少年指導といじめ防止について」 (2) 意見交換 6 閉会					

議 事 内 容

< 議 事 >

(1) 講演内容

「県警における少年指導といじめ防止について」

講師：東入間警察署生活安全課少年係長 大沼貴志氏

(2) 意見交換

【委員】私達からは普段見えないところのお話も聞かせていただいて、とても勉強になりました。

【委員】本校の事例で、実際県警に相談できて良かったなというのがありました。被害を受けた子、それから加害的な子の場合もきちんと説諭し、社会全体が両方見守っているんだよっていう気持ちにさせて、一緒に学校に戻ってこられたというのは、私は両方の子どもにとって、大変プラスになったというふうに思っております。学校の中だけで解決できないことに尽力をいただき、感謝しております。

【会長】日頃から密接な関係を築いておくと、今回の事例のような対応ができるかと思えますね。

【講師】保護者の方々には、警察だからといって敷居が高いと思っていただく必要はなくて、やっぱり一番大きいのは、お子さんたちが思い悩んでしまって自殺してしまうような、本当にそれだけは避けなければいけませんので、加害者側の子への働きかけも含めて、何かありましたら連絡していただければと思っております。

【会長】大変ありがとうございました。他になれば次の協議に移ります。本協議会も第3期となりますので、いじめ問題の全般的なことや本協議会の活動について、皆様からご意見がございましたらお願いいたします。

【委員】学校としては、いじめの情報をつかみ、徹底して両者に話を聞くと、どうしてもやった側の方をきつく言うてしまうというのがあるんですけど、その辺の聞き方について。生徒はいけなかったかもしれないと思いながらも、自分を守りたいというのもあって言わなくなりますよね。その辺が難しいなと思いながら、教員としてはやっているんですけど、もしご意見がありましたらお願いしたいと思えます。

【委員】自分の子どもでも全部把握できる訳じゃないですし、子ども同士の間の出来事で、こちらが見ていないものを知ろうとするのは、なかなか難しいことですね。

【委員】そうですね。親子関係なら小さい時からの、何でも言える何でも聞いてくれるというのがありますが、高校生になった子どもたちに、本当のことを言っているのかなんて、難しいところだと思います。先生方には頭が下がります。

【会長】高校生と小学生では言葉の発し方など、ずいぶんと違うでしょうけれども、一人ひとりの人格もあるので、そこのところを配慮する必要がありますね。放課後児童クラブなんかは、子どもたちのトラブルはしょっちゅうでしょうけれども、いかがですか。

【委員】ちょっと逸れるかもしれないですが、例えば、なにか悪いことをしてしまった自分をさらけ出すことは、誰でも、大人でもなかなかできませんけれども、だめなところを含めて受け入れてもらえるというような気持ちがないと、とてもできないと思うのです。肯定感というのはワードとしては出てくると思いますが、どんな時でもいい未来をイメージできる力、失敗しても上手くいかなくても人生を前向きに過ごしていく、みたいところが弱いな

っていうふうに思っています。答えになってないですけど、そういった根っこを育てるみたいなところから、地道なのですけど考えていきたいと思っています。

【会 長】ありがとうございました。子どもたちが幸せに生きていくために、この協議会ではどんなことをしたらいいかを、今後も話し合っていけたらと思います。本日の議事は以上とさせていただきます。

<閉 会> 副会長